



～肥前名所は祐徳稲荷 運と福との授け神～

祐徳稲荷神社

日本3大稲荷のひとつに数えられ、年間280万人もの参拝客で賑わいます。創建は江戸時代の1687年で、商売繁盛・家運繁栄などの御利益で知られます。総漆塗り極彩色の壮麗な社殿は、鎮西日光とも称されます。

●恋愛成就の岩崎社



ハート型の恋絵馬がたくさんかかる岩崎社は、縁結びの神様。鳥居の額縁にもハートマークがたくさん。恋愛だけでなく、仕事の縁も結んでくれるありがたい神様です。

●祐徳門前商店街



神社へ続く約300mの参道には、お土産物屋やお食事処が軒を連ね、参拝客をおもてなしします。春には風情ある桜並木が訪れる人の目を楽しませてくれます。

●命婦社



本殿横の命婦社は19世紀初頭の社殿建築で、かつては神社の本殿だった建物です。一間社流造りで、数々の彫刻もみごとなことから、県の文化財に指定されています。

●日本庭園の四季

春牡丹や桜、アジサイや朝顔など、四季色とりどりの花々が咲き誇る日本庭園は、秋にはみごとな紅葉で色づきます。四季を感じながらゆっくりと散策できます。



●枯れない水鏡



神社の創始者である鹿島藩3代藩主夫人の萬子姫が、毎日この水鏡をのぞいてその日の運勢を占ったと伝えられます。水不足の時でも枯れない、不思議なスポットです。

●基聖寛蓮の碑



平安時代に当代随一の基打ちとして「基聖」と呼ばれた寛蓮の出身地にちなんで、神社外苑には記念碑が建てられています。毎年5月末頃祐徳本因坊大会も開催されます。

歴史と伝統

●鹿島城跡・旭ヶ岡公園

鹿島藩鍋島家の居城跡で、かつての城門である赤門と大手門のほか、堀や石垣、周辺の武家屋敷が面影を伝えています。城内の旭ヶ岡公園は県下有数の桜の名所で、多くの花見客で賑わいます。



●蓮蔵院

平安時代創建の真言宗御室派の古刹です。堂内に安置されている重要文化財の3体の仏像は、黄金の輝きを放ち、往時の繁栄を今に伝えています。



●誕生院

真言宗の中興で新義真言宗の祖、興教大師覚鑊上人の誕生の地です。境内は四季折々の草花が美しいほか、会館内の正覚庵では名物ごま豆腐やヘルシー料理も楽しめます。



●普明寺

1677年に建てられた、鹿島藩鍋島家の菩提寺です。中国風の建築様式を色濃く残す黄檗宗の寺院で、裏山には歴代藩主の墓が整然と建ち並んでいます。

●面浮立と伝承芸能



鬼面を被り勇壮に舞い踊る面浮立は、佐賀を代表する伝承芸能で、鹿島に最も多く伝承されています。このほか、市内には80を超える芸能が伝承されていて、五穀豊穡や自然への感謝を込めて、各地の神社などで奉納されます。

年間の主なイベント

●ふな市 (1月19日)

二十日正月に食べる郷土料理ふなこぐい(鮎の昆布巻き)の材料となる鮎を売る全国的にもめずらしい市が、前日の早朝に立ちます。早朝から大勢の人でにぎわいます。



●初午祭 (2月最初の午の日)

京都伏見に稲荷神が鎮座した日にちなんだ稲荷神社の縁日。境内では神楽のほか面浮立や獅子舞など郷土芸能の披露もあり、終日大勢の人でにぎわいます。



●鹿島酒蔵ツーリズム (3月下旬)

市内6つの酒蔵が同時に蔵開きを行い、各蔵では酒の試飲販売やさまざまなイベントが行われます。また他の観光スポットも周遊することができ、鹿島の魅力を満喫できます。



●旭ヶ岡公園桜まつり (3月下旬～4月上旬)

一目5千本とも言われる県下有数の桜を求めて、大勢の花見客で賑わいます。桜まつり期間中はライトアップされ一味違う夜桜を楽しむ事ができます。

